2025年度 スポーツ科学部 FD 活動方針・活動計画

スポーツ科学部では、全学のFD方針に基づき、以下の取り組みを実施する。

1. 大学4年間を通した基幹科目の充実

【目的】

- (1) スポーツキャリア演習Ⅰ～Ⅳの充実。
- (2) スポーツ専門演習Ⅰ～Ⅳの充実。

【実施内容】

- (1) 2023年度より授業内容を一新。関連委員会での定期的検討。主任教員を中心とした授業担当教員+SAによる運営+振り返りによるブラッシュアップ。
- (2) 学部教員数と学生数を踏まえた授業内容の検討。

2. 教員の教育・研究能力・学部運営能力等の向上

【目的】

- (1) スポーツ科学部教員勉強会を実施し「教員相互の研究理解，研究意欲の向上，研究費獲得法の理解，授業実施方法の共有，学修成果の把握・可視化についての意見交換，大学・CSCとの連携，学部の現状や課題の共有，等」を図る。
- (2) スポーツ科学部教員の行動指針（ISS教員スタンダード）を明確にする。
- (3) 学部の特殊性を踏まえた委員会構成，学生の声の収集等による，学部運営。

【実施内容】

- (1) 隔週30分程度の勉強会を企画・運営（2023年度からの継続）。
- (2) スポーツ科学部教員の行動指針（ISS教員スタンダード）の作成。
- (3) 学部独自の委員会構成とその活動報告の作成，学部独自のアンケート（全学生対象）の実施。

3. 105分授業への対応

【目的】

- ・105分授業の実施における課題などの整理と共有。
- ・学生の学習意欲の向上を含め，より効果的な授業になる授業計画を検討。

【実施内容】

- ・共通教育センターFDによる全学FD研修会への参加。
- ・学部教員間での相互授業観察と評価。
- ・スポーツ科学部教員勉強会による2025年度授業の振り返りの実施。

4. 学修成果の可視化

【目的】

- ・学修成果の可視化に関する方法をその限界を踏まえて学ぶ。
- ・スポーツに関わる者に限らず求められるコーチングに関する資質・能力を縦断的に定量評価する。
- ・スポーツ専門演習 I～IVにおける学修成果を評価する。

【実施内容】

- ・共通教育センターFDによる全学FD研修会への参加。
- ・コーチングに関する資質・能力を定量的に評価する SCCOT (Sports Coaching Competency Test) のテストとフィードバックの継続実施 (毎年、1・3年生に実施)。
- ・3年次の卒業研究中間発表 (研究計画要旨を含む)、4年次の卒業研究発表 (卒業研究抄録集を含む)。

以上.